

# 2023酒まつりテーマ

テーマカラー : グリーン



## つぐ ～ “酒と世界とふるさと”と～

注ぐ 酒を注ぐ みんなで酌み交わす

接ぐ 東広島と世界を接ぐ

継ぐ 郷土の誇り、酒まつりの歴史を継ぐ

2020年から3年間続いたコロナ禍も、ようやく出口が見えてきました。5月には感染法上の分類が2類から5類に移行し、行動制限がなくなります。先行して3月からはマスク着用が「個人の判断に委ねる」とされました。時代は確実に動いています。海外からの観光客の流入も増えてきました。インバウンドを含めた観光は、いよいよ再興のときを迎えています。

このような社会情勢の中で開催する「2023 酒まつり」。私たちに求められているのは、単にコロナ前のような大規模な祭りを再現することではありません。酒まつりの本質に立ち返るとともに、新たな楽しみ方を提案していくこと。酒の文化を通じて来場者と親睦を図り、地域の魅力を発信し、東広島と世界をつなぐイベントにしたいと考えております。

2020年から3回の酒まつりで挑んださまざまなイベントの形は、私たちに多くの可能性を教えてくださいました。オンラインコンテンツを有効活用することで、新たな東広島ファン、酒文化の伝承者の開拓ができたのです。この3年間で築いてきたノウハウと知見を活かし、アフターコロナの祭りのスタイルを構築していく最初のチャレンジが2023 酒まつり。実行委員会立ち上げにあたり、今年のテーマを「つぐ」としました。

「つぐ」には3つの意味を込めました。

「注ぐ」 文字通り酒を注ぎ、みんなで酌み交わして関係性を深める。対面開催の魅力。

「接ぐ」 オンライン接続で、東広島と世界を接ぐ。ウィズコロナからアフターコロナへの接点・起点。

「継ぐ」 郷土の誇りである酒まつりの本質、歴史、この3年間の努力と知見、ノウハウを次代に継ぐ。

実行委員会メンバーはもちろん、酒まつりに関わる皆さん一丸となって、注いで、接いで、継いで、たくさんのつながりが生まれることを願っております。酒という私たちの街のシンボルを通じて、東広島のにぎわいと魅力を世界に発信していきましょう。

2023 酒まつり実行委員会

実行委員長 宮迫 真芳